



校長通信

令和5年度 5号 令和5年5月18日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《中間テスト無事終了！》

5月16日・17日中間テストを実施しました。生徒は、真剣に問題を解いていました。今回、学習した成果が出たでしょうか。後日、テスト返却がありますが、得点だけにとらわれず、間違った問題を見直してほしいと思います。各ご家庭でも、お子さんと今回のテストについて、一緒に振り返っていただけたらと思います。よろしくお祈りします。



《1年生に英語の授業を行いました！》

5月某日、教員の出張に伴い、自習を避けるため、ピンチヒッターで私が1年生のあるクラスに英語の授業を行いました。試験範囲をもうすでに学習したとのことでしたので、最初、教科書に掲載されているビートルズとカーペンターズの歌を歌いました。英語の歌を、原曲に合わせて歌うことは、英語のリズムや発音の練習をするのに効果的な学習法です。また、何より、軽快なリズムにのって歌を歌うのは、とても楽しい活動です。



歌の後、教科書で学習した英文（試験範囲）を全員で音読練習した後、ペアとなり、パートナーが日本語を言った後、すぐにその内容を英語で言う、私が名付けて、「あなたも立派な通訳者」活動を行いました。日本語を言われて、すぐに英語で話す練習は、生徒が英語で話すための反射神経を鍛える活動になります。以下、授業後の生徒の感想を一部、掲載します。

「あまり英語とか話せなかったけど、しっかり言えて良かった。難しかったところもあるけど、言えた。」「日本語を英語で言う時は、すばやく言うことができました。英語の歌は、英文はわからなかったけれど、できるだけがんばった。」「英語の歌は覚えるの大変そうだけど、すごく勉強になった。楽しかった。」

楽しく、英語の授業を受けてくれたようで何よりです。

《挑戦して来ました！》

5月某日、剣道八段審査に挑戦して来ました。剣道八段の受審資格は、「七段受有後10年以上修行し、かつ、年齢46歳以上の者」とされています。この5月、七段をいただいて、ちょうど10年経ち、受審資格を得たので、初めて挑戦しました。

結果は、不合格でしたが、自分なりに技が出せたので、悔いはありません。今回、全国から1,665人の剣士が京都市に集い、合格したのは、たった14人でした。なんと、合格率0.84%という狭き門でした。合格できる可能性はきわめて低いですが、今回の審査を自分なりに振り返り、日々の稽古に精進し、来年、また京都でチャレンジしようと思います。